

株式会社 ナノバブル研究所

最近、目に見えない超微細気泡「ナノバブル(直径1 μ m未満)」の存在が明らかになり、水中での長期残存現象(気泡のブラウン運動)などの“特異性”が確認されました。

目に見える従来の微細気泡「マイクロバブル(直径1~数100 μ m)」や通常の気泡「ミリバブル(直径1mm以上)」とは大きく異なる性質を示しています。そのため、各分野への応用が大いに期待されています。

弊社は、弊社独自の技術によって、高効率且つ気泡の径を自由に操れる「ナノバブル発生装置」を開発するとともに、各分野への応用製品の研究開発を行います。

ナノバブルを応用できる分野と市場



赤字は既に開発がほぼ完成し事業展開を行う市場 (東北大学など研究機関との共同研究を含む)

ものづくり系